

府と千里ライフサイエンス振興財団の現在の取組と新たな取組（案）について

- これまで、府と財団は、府内ライフサイエンス分野の産業振興のため、相互に連携を図ってきた。
- 「大阪の再生・成長に向けた新戦略」（R2年12月策定）では、重点分野の1つに、健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成が位置づけられた。
- 成長のけん引役として期待される大阪・関西万博を控えているなか、この世界的なクラスター形成の実現のためには、ライフサイエンス分野に関する高度・専門的な知見と人的ネットワークに強みを有する財団と、府が協働していくことは不可欠である。

◆現在の取組◆

【千里ライフ財団】

- ・研究交流・人材育成事業
- ・研究助成事業
- ・普及啓発事業
- ・実用化支援事業

【大阪府】

- ・ライフサイエンス拠点の形成
（彩都・健都・未来医療国際拠点（中之島））
- ・関係機関間の総合調整（産学官連携や拠点間連携の促進、エコシステムの構築）
- ・中小・ベンチャー企業等の成長支援



加えて

◆万博テーマに沿った新たな取組（案）◆

- I 国際シンポジウムの開催
海外から著名な研究者が集まり、最先端の研究内容を講演。万博開催に向け、オンラインも活用し、今後成長が期待され、万博と親和性が高い再生医療の分野で優位性を有する大阪から世界へ情報発信
- I ライフサイエンス系MICEの誘致・開催

- ▶ 新たな取組を検討し、その調整や業務を遂行していく必要あり
- ▶ 万博に向けた府の最新の取組と連携していく上でも、府関与ポストの継続が望ましい